

(家庭数配布)



## 前向きに考えることの大切さ

先日、ある保護者の方とお話をする中で、運動会での私のあいさつが心に残ったと言っていました。開会式の「皆さん、空を見上げてください。とても良い天気です。」についてです。私はただ単純に「良い天気だな。」と思ったからそう言っただけなのですが、この言葉がとても良かったと言っていました。その後いろいろとお話をする中で、私はその方から逆に「どんな時でも上を向く」の大切さを教えていただいたように思います。

「上を向いて」「前向きに考える」などのいわゆるポジティブ思考については、脳科学系のどの本を読んでも肯定的に述べられています。「ポジティブ思考を持つ人の周りには多くの人が集まる。」「ポジティブ思考は幸運を招く。」「ポジティブ思考は健康面にも良い影響を及ぼす。」などです。

「それは分かっているんだけど、どうしてもネガティブな発言をしてしまうんだよね。」という方もおられるかもしれません。私はネガティブに発言してしまう傾向のある人に、無理やり「ポジティブに発言しましょう。」と言ったところで、それは難しい作業だと思っています。「じゃ、どうすればいいの?」と聞きたくになりますね。これは私の案ですが、後ろ向きの発言をしてしまう人は、後ろを向いて発言すればいいと思っています。後ろを向いて後ろ向きの発言をするわけですから、結果としては前向き発言となります。バックしかできない車は、車の後ろ部分を進みたい方向に向ければよいのです。少し(かなり?)違和感はありますが、目的地に向かうことができます。(道交法的には問題ありでしょうが、そのように考えましょうという意味です。)

タレントのタモリさんは「笑っていいとも」を30年以上続けたのですが、長く続ける秘訣として「もし失敗しても反省しない。反省するより、明日のことを考えた方がいい。」と言っています。一見、いい加減な考え方のようにも思えますが、これには根拠があります。「明日のことを考える⇒明日、失敗する可能性が低くなる⇒反省する必要がなくなる」といういわゆる好循環です。反対は「失敗をなかったことにしようとする⇒明日の準備をする時間がなくなる⇒明日、失敗する可能性が高くなる⇒また、反省しなくてはならない」、これが悪循環です。



また、ぶつぶつと述べてしまいましたが…、最後に、私の運動会でのあいさつを「前向きに」捉えて伝えてくださった方に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

## 授業参観・キャンドルナイト ありがとうございました！！

18日(金)には、本年度2回目の授業参観を行いました。1学期に引き続き、お子様頑張っている様子をご覧いただけましたでしょうか。以前にもお願いしましたが、ぜひ「よくやっていたね。」とほめてあげてください。もし、一度も手を挙げていなくても、「よく話を聞いていたね。」と言ってあげてください。大人に認められることで、子どもたちはより意欲を高めることができます。よろしくお祈りします。

翌19日(土)はPTA主催のキャンドルナイト、色とりどりの灯りが子どもたち未来を明るく照らしてくれているようでした。PTAの皆様と、作品を提供してくれた子どもたちの力が合わさり、素晴らしいイベントだったと思います。前にも申し上げましたように、今回のキャンドルナイトは、過去2年間のPTA役員の皆様による蓄積があってこそ開催です。今年度の役員の皆様も含め、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



山本会長のご主人がドローンにて撮影



マチカネくんも来たよ！



あまりの出来映えに、「これ、フロが作ったの?」と言っているお父さんもおられました。当日は豊中報道の徳丸さん(マチカネくんの左側の方)も取材に来られました。この紙面の写真は白黒ですが、豊中報道ではカラーでアップされていますので、ぜひご覧ください。